



第13号



令和2年6月15日発行

〒358-0003

入間市豊岡1-15-1

埼玉県立豊岡高等学校
同窓会 会報編集委員会

特集・創立百周年記念事業実行委員会情報

母校百寿・記念式典まであとわずか 新型コロナ・ウイルス蔓延の中でも 懸命に準備が進められています

学校沿革史によれば私達の母校は、大正9（1920）年7月5日、豊岡町他九ヶ村の学校組合立豊岡農学校として開設されました。以来、戦前・戦中・戦後と今日までに100年の時が流れました。

歴史と伝統に育まれ、恩師や地域の人々に支えられ、出藍の誉れに生きようと勉めてきた若き学徒や学舎の足跡を顕彰し、縁ある人々の労苦に感謝したいと、創立百周年記念事業の準備が推進されてきました。

『出藍』13号では、その進捗状況の一端をお伝えしたいと思います。同窓会員それぞれが、その在学・在勤時代を懐かしく、またその労苦を偲びつつ、共に母校創立百周年を祝い合いたいと願っています。

小紙『出藍』創刊号が小さな産声を上げたのが平成22年3月10日。10年前のことでした。発行に先立つて、準備委員会を立ち上げ、初めての編集会議を持ったのが、前年21年8月29日のこと。6名の同窓生と、当時の校長を含む2名の校内委員でのスタートだった。校長は、成瀬英二氏。小紙創刊の火付け役であり、進学重視型の単位制高校へ

の転換、少なからぬ反対を説得し、「90周年記念式典」の開催等々の準備が進み、ついに式典係・祝賀会係」「記念誌編集部会」「記念整備事業部会」の三部会（掲載順不同）を置いている。な

くも一流の曲者と言えようか。『出藍』刊行も、長いようであつといふ間のひと昔でもあつた。年度は改まるが、この年の11月20日に、今日の創立百周年を見据えて、創立90周年記念式典が挙行された。その折の事業の準備や展開など、そのノウハウが今回の百周年記念事業に活かされていることは言を俟たない。余。世界中が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により震撼とする中で、創立百周年記念のメンバーにより、着々とその準備が進行されています。以下にその概要をお伝えします。

第1回の実行委が開催されたのが平成29年7月20日。3年前から具体的活動が本格化した。実行委は、学校教職員、PTA・後援会、同窓会の協力で、正副委員長等から成る「役員会」、その傘下に「式典部会（式典係・祝賀会係）」「記念誌編集部会」「記念整備事業部会」の三部会（掲載順不同）を置いている。なかなからず在勤してきており、その大役を務めてきた。この特集は、それぞれの代表の方に百周年に向けての想いや現状報告をお願いしたものです。

創立百周年記念事業の準備概要

次の100年へ

正門の周辺改修

記念整備事業部会長

橋本 浩（昭54高卒）

創立百周年記念整備事

業は、正門の改修とそこから生徒玄関・職員玄関に続くアプローチの整備、そして通用門の改修、大型掲示板の設置を柱に行うことになりました。

当時の見積では予算の都合上、大胆な改修が出来ないことが判明しました。創立百周年事業にふさわしい整備事業とするため、同窓会の英断を頂き、追加の支援も受けて大掛かりな改修が出来ることとなりました。

まず、正門から見ると、現在の正門も鉄平石を貼った立派な門であるた

め、現在の原型を残しつつ、豊岡高校がさらに、今後百年に向けて発展するよう願いを込め、現在の門を高くし、遠くからでも目立つような改修工事を予定しています。また、正門に付いている校名のプレートも伝統を感じさせるものなので、磨き上げてそのまま使用することが決まっています。

正門から玄関までのアプローチは、生徒玄関に向かう部分が土で小高くなつたり、土が露出したり、また駐車スペースがありま

す。また、北側の道路に面しては、使用されていないスペースがあります。さらに、現在使用されていない水道が、昇降口に向かう階段の右にあるので、これらを整理し、正門から入って、左側を生徒や歩行者のゾーンとし、右側を駐車スペースとして車との往来を分けるように考えています。な

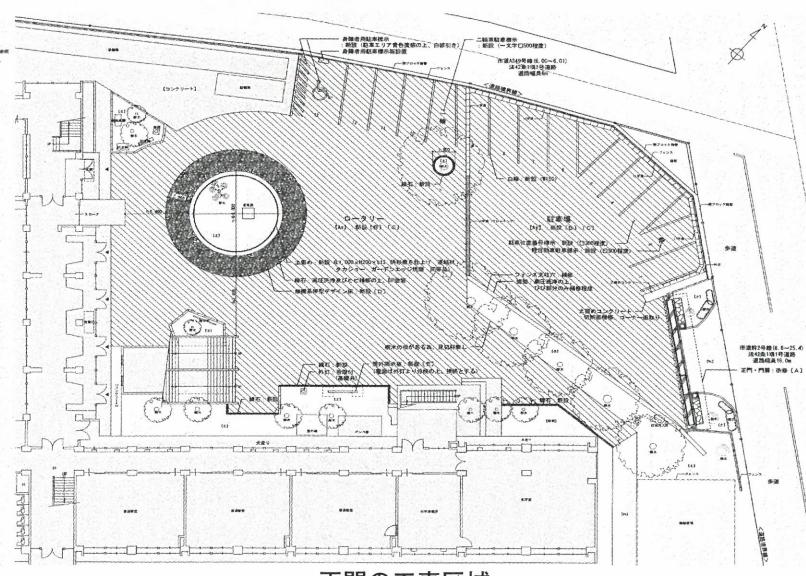
お、大きな欅の木が5本、昔正門があつた場所の左右にあり、夏は日陰を作っているのでこの欅はそのまま残し、今後の豊高の発展を未来に渡り見守つて欲しいと思っています。

豊高には、生徒連絡用掲示板がなく、生徒に連絡等をする場所として、所として大型の掲示板を昇降口階段の手前に設置することとしました。この掲示板は、ガラスの引き戸と照明が付いており、雨が降っても濡れること

はなく、夜でも見ることができます。

また、若草像の周辺は、継ぎ足しの舗装になつているため、雨が降ると水たまりができ、歩くにも足元を選んで歩かなければならぬ状況です。正門から玄関までの舗装を全面一新し、若草像の周りの舗装は色を変えて、

若草像が映えるようになります。通用門は、門扉の色の塗り替えと補修、門柱の磨き上げ等を行います。また、この一連の工事期間は、6月頃から始まり、



徒の学習活動には極力支障がないようにしたいと思っています。新しい正門から玄関までのアプローチは9月までには完成すると思いますので、成るべく豊高をご覧ください。

創立百周年記念事業の準備概要

百周年を想う



埼玉県立豊岡高等学校同窓会会长
兼創立百周年記念事業実行委員会委員長
木下 博（昭26高卒）

豊岡高校は間もなく創立百周年を迎えます。その記念事業は実行委員会で進めていますが、特に同窓会では、学校の顔とも云える正門附近の整備として、情報発信の拠点である掲示板の改修も含めた整備を中心に支援しています。この予算については、入会をいただいた会員の皆さんのが会費を原資としており、全会員の皆さんには、今後とも本同窓会・母校への物心両面のご支援ご協力をお願いいたします。

本校は、大正九年四月、学校設立の件が認可され、同年七月五日、当時の豊岡農学校として、産声をあげました。地域の衆も云える正門附近の整備を一身上に任い、教職員・生徒が一丸となつての努力により、今日の定員九百六十名の豊高として発展を続けてきました。質実剛健の校風と伝統づくりに係わったすべての方方に敬意を表し、恩師・先輩方の汗と涙で光る百年のバトンを私たちには未来に繋ぎます。「歴史は未来の案内人」の言葉を聞きましたが、私たちはその語り部の責務を果たしていきたいと思っています。

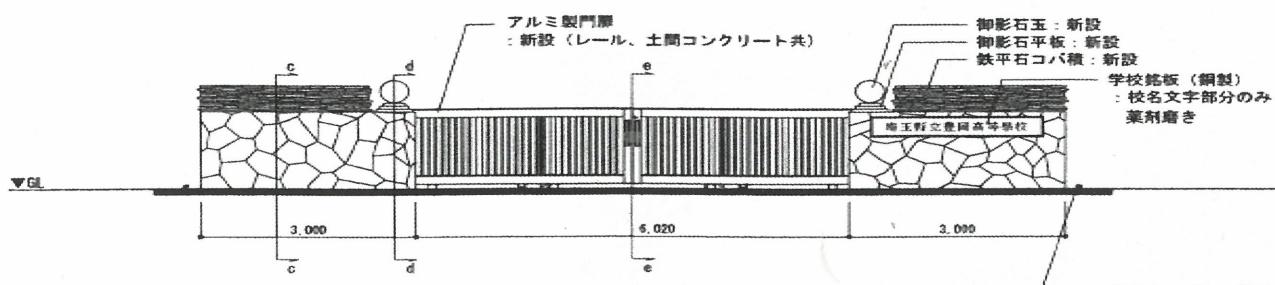
岡小学校内に、二年制・定員八十名の学校組合立の現在も密度の濃い交流を続ける友のあることは、私の心のオアシスであり誇りであります。私は昭和二十年四月に入学、豊実、豊高で六年間学びましたが、この間は、戦時から平時への転換期。国土は占領されて米軍兵士が闊歩する時代でした。衣食住に事欠く生活の中で、優しさを振り撒く先生方と、上級生の重圧から解放された生徒が、自由な環境で学べたことは大きな喜びでした。時には、放課後の無人の廊下を、千鳥足で放歌高吟する先生なども現れて、ほんわかとした雰囲気も漂いましたが、いつの時代でも絶対に忘れられないのは恩師の姿です。物理、簿記、珠算な

どを受け持ち、多くの生徒から慕われた森田義雄先生は、私にとっては人生の恩師とも云うべき大きな存在でした。そして、豊実、豊高の縁によって結ばれた友垣は私の人生の道標であり、八十七才の現在も活力の源となっています。この間も密度の濃い交流を続ける友のあることは、私の心のオアシスであり誇りであります。

二十一世紀の日本社会は少子高齢、人口減少の時代をどう総括し、未来にどのような形で引き継ぐべきか、そのための意志と行動力が問われています。豊高は今、個の尊重を基本とする「大学進学型単位制高校」への道を歩み始めました。近い将来の日本を背負う人材の育成に努力する我が母校に期待し、その成功を祈つて百周年を想う言葉をいたします。

木下 博（昭26高卒）

私は昭和二十年四月に入学、豊実、豊高で六年間学びましたが、この間は、戦時から平時への転換期。国土は占領されて米軍兵士が闊歩する時代でした。衣食住に事欠く生活の中で、優しさを振り撒く先生方と、上級生の重圧から解放された生徒が、自由な環境で学べたことは大きな喜びでした。時には、放課後の無人の廊下を、千鳥足で放歌高吟する先生なども現れて、ほんわかとした雰囲気も漂いましたが、いつの時代でも絶対に忘れないのは恩師の姿です。物理、簿記、珠算な



校門の完成予想図

創立百周年記念事業の準備概要

歴史と想い出・資料集

豊岡高校創立百周年記念事業実行委員会に記念誌編集部会がおかれ、同

作成するにあたって、ま
ず、構成内容として大き
な柱を二本立てました。

知つていただくような内容構成としました。

誌が完成する予定です。
農学校から農業科・女子
農村家庭科・商業科から

う予定です。詳しくは当
同窓会ホームページ
<http://toyokodoso.org/>

窓生職員を中心とした学
校職員、同窓会、PTA

から選出された方々に
よって、今から二年前の
平成30（2018）年よ
り発行に向けての準備が
始まりました。当初は、
本づくりについてのノウ
ハウがほとんどなく、路
頭に迷う状況でした。昨
年3月に、発行を手がけ

ていただきました出版社をさき
たま出版会にお願いした
ところ、埼玉県内の伝統
校百周年誌を手がけてき
た実績もあり、記念誌づ
くりが飛躍的に進むよう
になりました。

長きに渡る豊岡高校の歴史を「校舎の変遷から読み解く」論文、「座談会や対談」などを収録し、豊岡高校の歴史を深く

豊岡高校の歴史を知るものとしては、昭和30（1955）年に発刊された創立35周年記念誌、昭和47（1972）年の

とともに、地域の要請に応えて発展してきた学校。

A photograph showing a group of six people in a meeting room. Five individuals are seated around a long wooden table, while one person sits across from them. They are all looking towards the center of the table, suggesting a collaborative discussion or presentation. The room has large windows with white curtains, and a red exit sign is visible on the wall in the background.

編集会議の一コマです

50周年記念誌、平成5
(1993)年の70周年
写真集といった貴重な資
料があります。こうして

それがこの豊岡高校です。
これからもこうした特色
を継承しつつ歩んでいく
と思われます。

から7番までの校歌の録音が行われました。また、応援団のOBと同窓生による百周年応援団が結成され、忘れられようとし

本年11月6日（金）に創立百周年記念式典が実施されます。以下にその準備状況をお知らせします。

ンド国立歌劇場管弦楽団でバイオリニストとして活躍されており、クラッシックバンドを加えてのポップステージの後、在校生の合唱も参加して締めくくる予定です。

記念式典は本校体育館で来賓、招待者、在校生、教職員など1500名ほどで午前中に行われます。厳粛な記念式典の後、第2部のゲストとして、本校卒業生の内田咲千子さんをお招きしての音楽ステージを予定しています。内田さんはフィンラ

式典係

式典部会・式典係長
式典部会・祝賀会係長

林 勝哲

望 哲

国際的バイオリニスト 豊高OG
内田咲千子onステージ

創立百周年記念事業の準備概要



CD製作用校歌・応援歌収録風景

の齊唱で、普段は余り歌われる事のない、1番として報道されました。このCDは、百周年記念式典の当日の記念品として、関係者に配られるこ

とになっています。応援歌の譜面を完成させ、収録も行われました。この様子は埼玉新聞などメ

ディアにも「豊岡高校の幻の校歌・応援歌復活」として報道されました。このCDは、百周年記念式典の当日の記念品として、関係者に配られるこ

とになっています。応援歌の譜面を完成させ、収録も行われました。この様子は埼玉新聞などメ

て、創立百周年記念事業実行委員会等で、これまに確認された内容をご報告させていただきます。

祝賀会概要につきまして、創立百周年記念事業実行委員会等で、これまに確認された内容をご報告させていただきます。

祝賀会係

九十周年記念祝賀会では吹奏楽団OB、OGの皆さんのが演奏がありましたが、会場面積と参加人数の関係等もあり、詳細は検討中です。

現在4月初旬ですが、新型コロナ・ウイルスが猛威を振るい、学校行事予定も変更を余儀なくされています。今後の見通しも中々つきませんが、この事態が一日も早く終息し、式典、祝賀会が予定通り無事に行われるることを心より願っております。

会場 丸広百貨店入間店
時間 午後2時～4時
会場 さくら草ホール
形式 立食ビュッフェ制
参加人数 約270名
参加予定 県議会議員、近隣県立高校長、及び小・中学校長、入間市長、他入間市関係者、同窓会長、他同役員等、記念誌

木下同窓会会长をはじめ豊岡高校同窓会の皆様には大変お世話になつております。いよいよ創立百周年の年を迎える、会員の皆様には盛大な式典と祝賀会、記念誌出版そして記念整備事業に期待が膨らんでいることと想います。これらの実現に、皆様から多大なるご支援を賜りますことに深く感謝を申し上げます。皆様のご期待に副うよう、校長として精一杯努めさせていただきたいと思います。

さて、令和二年は新型コロナウイルスという未知の脅威と向き合わなければならぬ年となりました。感染拡大防止対策

として、学校現場でも三月二日より臨時休業とし、卒業式や入学式の簡略化を余儀なくされるなど、生徒に気の毒な対応を取らざるを得ませんでした。株価の下落に東京オリンピック・パラリンピックの開催延期と、社会全体が元気の出にくい状況です。ですが、豊岡高校にあつては、創立百周年を何としても盛り上げ、学校が元気で希望に溢れる状況に持つていきたいと思っています。

本校は創立百年ですが、百年を超す長寿企業は全國に三万社以上あるそうです。長寿の秘密としては、「不易と流行」を挙げる



創立百周年の年を迎えて～

校長 町田 邦弘

として、学校現場でも三月二日より臨時休業とし、卒業式や入学式の簡略化を余儀なくされるなど、生徒に気の毒な対応を取らざるを得ませんでした。株価の下落に東京オリンピック・パラリンピックの開催延期と、社会全体が元気の出にくい状況です。ですが、豊岡高校にあつては、創立百周年を何としても盛り上げ、学校が元気で希望に溢れる状況に持つていきたいと思っています。

今、世の中はグローバル化、AIの発達、気候変動、少子高齢化など大きく変化しています。予測不能な出来事も次々に起きてています。教育界も新学習指導要領が二年後から始まります。大学入試制度も今年度から変わります。このような変化に本校もしっかりと対応し、歴史と伝統を守りつつ、社会に貢献する人材の育成を一層進める学校にしていく決意であります。

経営者が多いと聞きます。

大事なものは変えない、時代の変化に応じて柔軟に変えていく。特に先を見る目が大切だそうです。

学校はどうでしょう。なかなか体質が変わりにくいか組織だと言われますが、学校が長く栄えるために企業と同じことが言えるでしょう。

進路指導部より

令和2年度入試の結果をお知らせします。

入学定員の厳格化により、今年度も私立大学は厳しい状況でしたがよく健闘し、下記の結果となりました。また、国公立大学では、現役生の中から2名の合格者がいました。

令和2年度入試合格数（過年度卒含む）

四年制大学	短期大学	専門学校 (看護医療系)	専門学校 (看護医療系除く)	就職・公務員
294	18	25	56	11

～主な合格先～

【四年制大学】

千葉大学、都留文科大学…現役生国公立大学2名合格

GMARCH大学（青山、立教、学習院、中央、法政）…計15名合格

日東駒専（日本、東洋、駒澤、専修）…計23名合格

その他、芝浦工業、成蹊、獨協、武蔵、神田外語、東京都市大等、多数合格。

【就職・公務員】

秩父市役所、警視庁、埼玉県警、自衛官、西武鉄道 …他

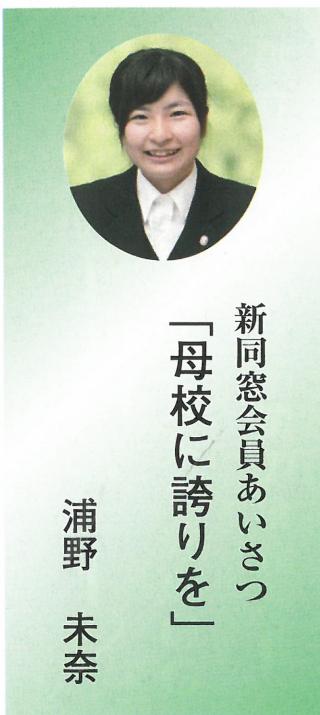
この度は豊岡高校同窓会に入会させて頂きありがとうございます。どうぞよろしくお願いします。

七十期生徒会長を務めました、浦野未奈です。今後ともよろしくお願ひします。

今回このような機会を頂き改めて、豊岡高校で過ごした三年間を振り返るとあつという間だった、と感じます。また、変化の大きい三年間でもありました。特に昨年は大規模な工事が入り、学校行事の変更等で多くの不自由がある中、生徒たちは互いに協力し合い柔軟に対応して、乗り越えてきました。私たち生徒会も

多くの生徒に助けられました。

(令2高卒)



新同窓会員あいさつ 「母校に誇りを」

浦野 未奈

多くの生徒に助けられました。

時を同じくして元号が平成から令和に変わり、

更に豊岡高校は創立百周年を迎えます。百年という時間はとてもなく長

く、その分多くの歴史があります。今までの、そ

してこれから豊高校の皆さんには是非、この伝統ある豊岡高校を誇りに思つて欲しいです。

微力ではありますが、

今後の豊岡高校のますますの発展を支援していく

よろしくお願ひします。

業生の皆様と一緒に演奏

部活動訪問 (第11回)

吹奏楽団



することができました。歴史の重みを実感するとともに、伝統を絶やさないよう気持ちを込めて演奏した貴重な機会となりました。

今年は第54回定期演奏会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となりました。また、皆様に豊高校・地域行事での演奏など幅広く活動しています。

吹奏楽団は、年に一回開催する定期演奏会のほか、コンクール、アンサンブルコンテスト、学年を迎える。百年といふ時間はとてもなく長く、その分多くの歴史があります。今までの、そしてこれから豊高校の皆さんには是非、この伝統ある豊岡高校を誇りに思つて欲しいです。

活動場所は吹奏楽団室。

歴代の団員が手作りした看板や指揮台は今でも健在です。現在は団員が少なくて苦労することもありますが、少人数だからこそチームワークを大切にし、足りない音を補いながら日々練習に励んでいます。また、昨年は百周年記念事業の一環である校歌録音にも参加し、卒業生の皆様と一緒に演奏

駒形格斗、 インターハイ個人準優勝

アーチエリーエ部の駒

形格斗は昨年8月に熊本県八代市で行われたインターハイで準優勝を果たしました。予選

は8位で通過し、9日の決勝に駒を進め、1回戦こそ苦戦したもの、その後、順調に勝ち上がり決勝まで進みました。最後は9点対8点で敗れましたが70m先の矢の差は2cmでした。



卒業生からの手紙



好きこそ物の上手なれ

専門学校 二葉製菓学校 実習講師

二上 友美

◎ 豊岡高校時代

私が在学していたのは

1997年からの三年間でした。自由な校風のもとそれぞれが自立した考え方をもち学生生活を送っていたように思います。

私は入学当初より将来の夢をパティシエール（女性洋菓子職人）と考えていて、卒業後は製菓の専門学校への進学を決めていました。

◎ 懂れだつた現場へ

分子の世界の事を考える
のはとても好きでした。

◎ 憧れだつた現場へ

2001年に吉祥寺にある二葉製菓学校 製菓・製パン科（1年制）を卒業し、地元のパティスリーに就職。夢への第一歩を踏み出しました。

繁忙期は朝早くから夜遅くなることもしばしばで、したが、学生時代と違い沢山のお菓子を作れるこ

ので技術的・内面的に未熟だった私は苦労する事が多かったです。そんな私が自分に自信をつけたいと思い始めたことは、コンテストに出場し、結果を出す事でした。

洋菓子業界では様々なコンテストが開催されています。中でも『ジャパンケーキショーエン京』は

私たちも還暦を迎えるました。あの頃の思い出は色あせるとともに美男美女の面影も・・・。(笑) 稲荷山公園が初夏を迎えた令和元年五月二十五日、還暦を祝う同窓会を開くことができました。

その時気づいた、SH

「びっくり」です。
二つ目の「H」はハッピー、「うれしい」です。退職期を迎える新しい職につく人、孫の面倒をみている人、体調を崩していく人、同窓会を楽しみにしていた人等、それぞれの姿に出会い、とても「うれしい」思いました。

授業では特に化学に興味がありました。後に製菓学校の恩師に、『お菓子は化学』と教わるのでですが、ばらばらの素材（小麦粉・砂糖・卵・油脂等）に化学反応（加熱や混ぜる順番等）を起こして物を作り上げる面白さ、目には見えない

とで仕事のやりがいや面白さを感じていました。

現場経験も2年程が経過し、次の就職先を相談しに母校へ行くと、助手（実習アシスタンント）をやつてみないかと相談を受けました。また勉強しながら働くことも出来ると思い引き受ける事にし

最もメジャーな大会で、全国から約2000点以上の作品が毎年秋に会場に集まります。何度か挑戦する中で、ついに2009年には大会グランプリ受賞（持ち込み部門）、2011年には同コンテスト内のトップオブパティシエ優勝（実技コン



ニイタカ



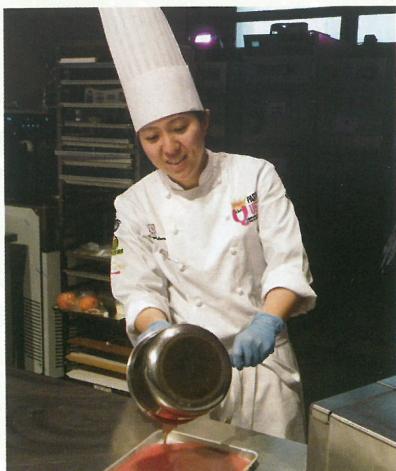
SHR

一つ目の「S」はサブライズ、「びっくり」です。担任の浜田東子先生は前回に引き続き参加してくださいました。先生

三つ目の“R”はリセット、「やり直す」です。最近、今までできていたことができなくなってきたという話が始まるとき、参加者それぞれのお悩み相談会に会場が一変してしまいました。しかし、解決の糸口を見つけ、何度も挑戦し、や

（時間通りに始まらない、ルールが突然変わる・借りられると言わされた機材が用意出来ない等）でとても大変でした。でも前のことなのですが、現地ではハブニングの連続（時間通りに始まらない、ルールが突然変わる・借りられると言わされた機材が用意出来ない等）で

（◎ 海外での貴重な経験）日本では整った環境で競技が出来るのは当たり前の事なのですが、現地ではハブニングの連続（時間通りに始まらない、ルールが突然変わる・借りられると言わされた機材が用意出来ない等）で



（テスト部門）の成績を収める事が出来ました。これがきっかけとなり、2014年にイタリア・リミニで開催された『The Pastry Queen』（ザ・ペストリー・クイーン・パティシエール世界選手権）日本代表として出場することとなりました。

（◎ 海外での貴重な経験）日本では整った環境で競技が出来るのは当たり前の事なのですが、現地ではハブニングの連続（時間通りに始まらない、ルールが突然変わる・借りられると言わされた機材が用意出来ない等）でとても大変でした。でも前のことなのですが、現地ではハブニングの連続（時間通りに始まらない、ルールが突然変わる・借りられると言わされた機材が用意出来ない等）で

私の場合は、スポートチームを作つて頂けたおかげで、何とか競技を終える事が出来きました。結果は準優勝で

（◎ あれから6年）現在は、実習講師として学生に技術指導をしながら、業界の新たな人材を育成する活動などで自分の経験を伝えています。

（昭52高卒）ですが、時代の変化と共に働き方や働く意味などが多様化し、悩みも人それぞれ：なかなか難しく感じる事もあります。そんな人に私は、『好きこそ物の上手なれ』（人は好きなものに対しては熱心に努力するので上達が早いという意味）と伝えます。私のとても好きなことわざです。自分にも何度も投げかけました。

（昭52高卒）

卒業後五十五年の 一期生、楽しかつ た同窓会

石田 芳夫

普通科一期生、昭和四十年三月卒業の第六回同窓会が昨年十月二十六日、入間市駅近くの料亭で開かれました。

二クラス八十八名の卒業生の内、出席者二十四名で物故者八名に黙とうをささげ、楽しくなごやかに近況報告が行われました。

五年ぶりの同窓会は、（昭40高卒）

「七十三歳になり配偶者を亡くしたこと、病気で悩まされている経験」などの近況が語られました。仲間の中には体の不調を訴える人も多くあり、今後は毎年開催することにしました。幹事を選出し、閉会しました。



上記のとおり平成31年度（令和元年度）決算報告をいたします。

令和2年5月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博
上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

令和2年4月22日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

3 令和2年度事業計画

(1) 会議等

○常任理事会 令和2年5月25日 書面評決による開催

(2) 同窓会報の発行

第13号 令和2年6月中旬発行

第14号 令和3年3月発行

(3) 文化祭参加 令和2年9月5日、6日

(4) 百周年記念誌の発行

(5) 同窓会入会式説明 令和3年3月12日予定

(6) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(7) 第73回卒業式出席 令和3年3月13日予定

(8) 賛助金の受付

・金額：一口 1,000円

・方法：ゆうちょ銀行に開設した口座に振込
名義「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」

4 令和2年度予算

(1) 一般会計の部（普通預金）

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 会 費	3,170,000	10,000円×317人（2年度卒業生）
2 賛助金	100,000	1,000円×100口
3 繰入金	8,348,544	一般会計の部(定期預金)から繰入
4 雜 入	1,016	預金利子
5 繰越金	4,489,440	前年度から繰越
合 計	16,109,000	

(支出) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 会議費	250,000	常任理事会経費
2 慶弔費	100,000	慶弔費
3 事務費	1,000,000	事務局使用料、H P管理料等
4 卒業生費	150,000	卒業証書ケース代
5 激励費	400,000	関東・全国大会等出場激励費
6 講師謝礼費	50,000	講演講師謝礼
7 積立金	0	
8 支援費	0	
9 周年行事費	9,000,000	創立百周年記念事業実行委員会会計へ
10 繰出金	2,000,000	同窓会報特別会計の部へ繰出
11 予備費	3,159,000	
合 計	16,109,000	

上記のとおり提案いたします。

令和2年5月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

(2) 一般会計の部（定額預金）

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰越金	8,348,544	前年度から繰越
2 預金利子	456	預金利子
合 計	8,349,000	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	8,348,544	一般会計の部へ繰入(定期預金を解約)
合 計	8,348,544	

上記のとおり提案いたします。

令和2年5月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

(3) 特別会計の部

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰入金	2,000,000	一般会計の部繰出金より
2 雜 入	225	預金利子
3 繰越金	393,775	前年度からの繰越
合 計	2,394,000	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	100,000	編集委員会会議費
2 事務費	2,000,000	会報・封筒印刷・送料
3 予備費	294,000	
合 計	2,394,000	

上記のとおり提案いたします。

令和2年5月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

5 その他

校内駅伝大会（稻荷山公園にて）



令和2年度 常任理事会報告

新型コロナウイルスの蔓延に伴う「緊急事態宣言」を承け、本年度の「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」は各理事より書面評決の形態を採りました。その概要をお伝えします。

議 事

1 平成31年度（令和元年度）事業報告

(1) 会議等

○常任理事会 令和元年6月21日

(2) 同窓会報の発行

第12号 令和元年9月1日発行

(3) 文化祭参加 令和元年6月1日

(4) 同窓会入会式説明 令和2年3月14日

(5) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(6) 第72回卒業式 令和2年3月14日

(7) 関東・全国大会出場選手等の激励

・関東高校アーチェリー大会出場

・関東高校陸上競技大会出場

・全国高校総体アーチェリー競技大会出場

・全国高校総体陸上競技大会出場

・全国高校陸上競技選抜大会出場

・全日本ターゲットアーチェリー選手権大会出場

・バトントワーリング関東大会出場

(8) 同窓会会報賛助金の受付

2 平成31年度（令和元年度）決算報告及び監査報告

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

(1) 一般会計の部（飯能信用金庫 入間支店 普通預金）

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)

15,936,411円 - 11,446,971円 = 4,489,440円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会 費	3,199,120	10,000円×320人(元年度卒業生) - 振込手数料
2 賛助金	254,000	1,000円×254口(延べ102人)
3 繰入金	8,692,631	一般会計の部（定期預金）から繰入
4 雑 入	51	預金利子
5 繰越金	3,790,609	前年度から繰越
合 計	15,936,411	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	110,929	常任理事会開催経費
2 慶弔費	0	
3 事務費	85,722	事務局使用料、切手代等
4 卒業生費	110,320	卒業証書ケース代
5 激励費	140,000	関東大会・全国大会等出場激励費
6 講師謝礼費	0	
7 積立金	0	
8 支援費	0	
9 周年行事費	10,000,000	創立百周年記念事業実行委員会会計へ
10 繰出金	1,000,000	同窓会特別会計の部へ繰出

11 予備費	0	
合 計	11,446,971	

上記のとおり平成31年度（令和元年度）決算報告をいたします。

令和2年5月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

令和2年4月22日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

(2) 一般会計の部（定期預金）

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)
17,041,175円 - 8,692,631円 = 8,348,544円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰越金	17,040,268	前年度から繰越
2 預金利子	907	預金利子
合 計	17,041,175	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	8,692,631	一般会計の部へ繰入（解約利息含む）
合 計	8,692,631	

上記のとおり平成31年度（令和元年度）決算報告をいたします。

令和2年5月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

令和2年4月22日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

(3) 特別会計の部（いるま野農協 東金子支店 普通預金）

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)
1,076,794円 - 683,019円 = 393,775円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰入金	1,000,000	一般会計の部繰出金より
2 雜 入	1	預金利子
3 繰越金	76,793	前年度からの繰越
合 計	1,076,794	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	10,000	編集委員会議費
2 事務費	673,019	会報印刷代、送料等
3 予備費	0	
合 計	683,019	

事務局だより

いよいよ百周年の年を迎えた。式典・記念事業・記念誌等着々と準備が進んでいます。百周年の様子は次号同窓会報14号にてお知らせする予定です。現在の社会情勢では不安もありますが、無事開催となることを祈っております。

【賛助金】

昨年度賛助金は延べ百余名の方から二十五万四千円もの、ご協力を頂きました。皆様のご支援、本当にありがとうございました。



去る3月14日、埼玉県立豊岡高等学校 第72回卒業証書授与式が、本校体育館で行われました。

豊高卒業生
竹永 恵美

卒業式 COVID-19に負けるな



現在養護教諭として母校に在勤していますが、

今年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックによる影響で、保護者・在校生・来賓の参列もなく、卒業生、教職員のみの式となりました。担任呼名への返事や校歌斎唱もなく、とても静かな式となりました。

不安な面持ちを見せながらも、最後は教職員の大大きな拍手に送られ、厳しい状況を跳ね返そうとの決意を新たに320名が卒業していきました。

自分らしく自分の選んだ道を大きく歩んでいくってほしいと願っています。
(平3高卒)

発行所	〒三五八一〇〇〇三 埼玉県入間市豊岡一一一五一一
埼玉県立豊岡高等学校 同窓会会報編集委員会	
TEL ○四一二九六二一五二二六 FAX ○四一二九六〇一一〇五三	
メールアドレス	f625216@pref.saitama.lg.jp
ホームページ	http://toyokodoso.org/

発行人	木下 大野 清恵
編集委員	木口 勝利 己巳
足立	小林 宏哲子 美智
黒田	竹永 恵美
高原誠	田中 孝幸 康洋
橋本	平田 光洋 浩
山田	山田 美和

令和元年度卒業生クラス代表

1組	伏見 萌花	4組	千葉 文乃	7組	小澤 祐
	吉竹 彩美		寺中 杏樹		後藤 美穂
2組	畠中 友芽花	5組	宮澤 航太	8組	富澤 琴羽
	八巻 玲央		鍋洲 楓華		横田 歩
3組	竹内 希姫	6組	謝明洋		
	脇亮太		林滉太郎		

編輯後記

▼会報第2号から携わらせていただき、早いもので13号の発行となつた。諸先輩方から寄せられた原稿を読むたび、母校への熱い思いに気持ちを奮い立たせてくれる。いよいよ今年は母校創立百周年の年。先輩方の思いを元に、次の二百周年に向けても卒業生をつなぐ会報発行に携わっていきたい。(黒)▼遂に迎えた創立百周年。しかし、新型コロナの感染拡大で世界は落ち着きません。先日、農学校創立少し前に、スペイン風邪の世界的な大流行があつたと知りました。とはいえて一度きりの百周年、同窓会もワンチームで頑張らねば。この『出藍』が、私達の頑張りを後世に残す史料となりますように。

(平)